

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1058	指導者育成経費		01	一般会計	
			10	教育費	
38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する		05	社会教育費	
			03	同和教育費	
		教育委員会 八幡町教育集会所	101	指導者育成経費	
			01	指導者育成経費	
担当者氏名	安永 幸二	連絡先	23-3157	細々目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	館対象地区住民及び周辺地域住民	広く教育の場をはじめあらゆる機会をとらまえての積極的な啓発活動により、一切の差別を認めない人権尊重の精神を高める
本年度事業内容	社会同和教育指導員の設置	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	
根拠法令・要綱等	伊賀市集会所条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,527	2,523	2,523
委託料			
報酬	2,152	2,152	2,152
その他	375	371	371
合計(A+B)	4,687	4,683	4,683
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	4,687	4,683	4,683
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
社会同和教育指導員の設置	名	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
指導員による学習会実施回数	指導員が中心となり学習会等の開催	回	1 目標 ( )	2	2
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

最近では悪質な人権侵害事例も発生しており、社会同和教育指導員を交えたそれらへの対応が急務となってきている。
---

評価	必要性	3	個人の相談要求や関係機関等との連携調整への取り組みと活動により、地区内外住民への人権同和に関する理解が深まりつつある	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		